

第7期(第2回) 新津地区公民館運営審議会

日時：令和2年2月12日(水)午後3:30～
会場：新津地区公民館 502 研修室

次 第

1. 開 会

2. 議事・報告事項

(1) 令和元年度事業報告について

① 新津地区公民館 [資料1-1]

② 小須戸地区公民館 [資料1-2]

(2) 令和2年度事業計画について

① 新津地区公民館 [資料2-1]

② 小須戸地区公民館 [資料2-2]

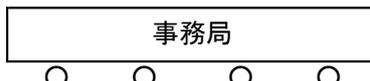
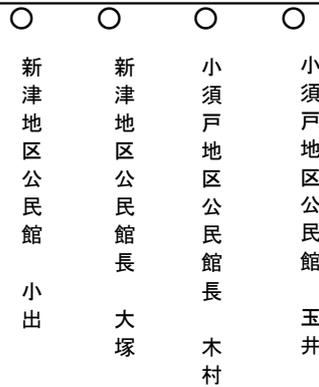
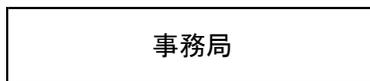
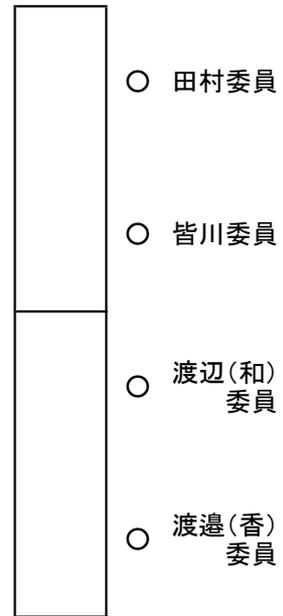
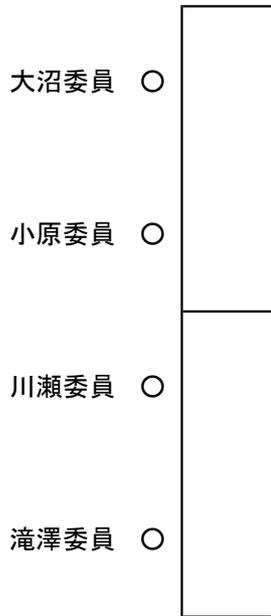
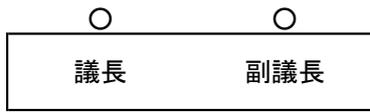
3. その他

4. 閉 会

第7期 第2回目新津地区公民館運営審議会出席委員名簿

R2.2.12

氏 名	所 属・役 職・職 業	区 分	出 欠
大 沼 直 子	子育て支援グループ 保育ヘルパーマミーズ 会員	家庭教育関係者	○
小 原 芳 子	新津地区公民館利用サークル	社会教育関係者	○
川 瀬 雅 司	旧小須戸地区公民館利用サークル 会員	社会教育関係者	○
相 馬 真紀子	小須戸コミュニティ協議会 事務局職員	自治会関係者	×
滝 澤 豊	新潟市立阿賀小学校 校長	学校教育関係者	○
田 村 祐 一	新潟市立新津第五中学校 校長	学校教育関係者	○
中 島 純	新潟経営大学 教授	識者	×
皆 川 美穂子	新潟市登録保育者	家庭教育関係者	○
渡 辺 和 典	新関コミュニティ協議会 会長	自治会関係者	○
渡 邊 香代子	金津中学校地域教育コーディネーター	社会教育関係者	○



令和元年度事業中間報告(令和2年1月末現在)

資料1-1

新津地区公民館		Noの網掛けは終了した事業です。																
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	実施済み分(4月～1月)				今後実施予定(2月～3月)		連 携				特記事項		
						回数	時間帯	定員	参加者数	延参加者数	実施予定月	回数	時間帯	学校	地域教育コーディネーター		コミ協等	活動協力員(人)
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	コミ協出前講座 講演会「浮世絵と川柳で見る江戸時代の旅」	コミュニティセンターを会場に各種事業を行い、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合					2月	1	午後			○		中央コミ協	
	2	コミュニティ防災学習会	地域や学校と連携した防災講座を開設し、地域防災意識の高揚と人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	午後	-	150	150			○	○	○		阿賀小、阿賀浦コミ協	
	3	秋葉区の学び～秋葉区の宝物を語る続「桂家そして、その後。」～	秋葉区の「宝」を様々な視点から学ぶことで、地域の良さを知り愛着を感じられる機会を提供する。	1	総合	4	午前	40	40	129						○		路地連にいつ中央コミ協
	4	柳都の「館やかた」うらおもて！～おとな目線でまなぶ市内施設めぐり～	施設の専門職の方から研究内容や苦労話、裏事情等を教えてもらい、受講者の「知的好奇心」や興味・関心及び教養の深化を図る。	1	総合	3	午前・午後	20	12	29								みなとびあ、マリンピア日本海、本ポート
	5	あきは未来塾 講座「やねだんに学ぶ」	地域コミュニティ協議会等と連携しながら、地域の課題解決や地域をつなぐ人材育成につなげる。	1	総合	1	午後	-	33	33								秋葉区内コミ協
	6	あきは未来塾Ⅱ 「苔玉づくり」	苔玉作りにチャレンジ 地域資源を有効活用した地域活性化	1	総合						2・3月	1	午前・午後			○		
	7	おはよう朝ごはん料理講習会 「早寝 早起き 朝ごはん」	コミュニティ協議会など地域団体との連携による料理講習会の実施により、朝ごはんの大切さを学ぶとともに、地域のつながりを支援する。	1	総合	6	午前・午後	-	393	393				○	○	○		中央コミ協・一小、東部コミ協・二小、金津小、金津中、放課後児童クラブ
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	8	地域交流事業	地域交流事業を各種地域団体との協働により実施することで、地域のつながりを促進し人材の育成につなげる。	4	総合	7	午前・午後	-	486	486			○	○	○	○	区内各小・中学校・各コミ協、活動協力員1人	
	9	GIP集会	中学校「いじめ防止問題」集いに地域住民からも参加してもらい、地域をあげての課題解決を図るとともに、世代間交流による地域の活性化を推進する。	1	総合	1	午後	-	436	436			○	○	○		五中 校区コミュニティ協議会	
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	10	乳児家庭教育学級 「ゆりかご学級」	家庭教育の重要性を学ぶ。保護者と地域が共に子育てをすすめる大切さを知る。(仲間づくりの機会)	1	成人	5	午前	30	16	68								
	11	幼児期家庭教育学級 「ほかほか学級」	子どもの心身の発達、自我の芽生えを理解し、子育ての不安や悩みを話し合う。(仲間づくりの機会)	1	成人	5	午前	20	20	68							企画委員3人	
	12	児童期家庭教育学級	子どもの心と体の発達を理解し、同世代の子どもを持つ親同士の交流を図る。(仲間づくりの機会)	1	成人	3	午前		15	37							企画委員1人	
	13	子育てサロン 「ポップボー！」	親子のつながれる居場所づくり、情報交換	1	総合	17	午前	-	251	251	2・3月	4	午前			○		企画委員4人、活動協力員1人、読み聞かせボランティア
	14	家庭教育講演会	秋葉区幼稚園PTA連合会との共催による講演会	1	総合	1	午前			82	82							秋葉区幼稚園PTA連合会、企画委員15人
4. 青少年の生きる力を育む事業	15	チャレンジ あきは体験隊	子どもたちの様々な体験から、集団活動をつうじた課題解決能力を身につける機会とする。	1	少年	1	午前・午後	20	18	18			○				新潟薬科大学、学生ボランティア	
	16	秋葉区一斉クリーン作戦	地域・家族の協働による美化活動を行い、併せて青少年の健全育成を図る。	1	総合	1	午前	-	8,865	8,865			○		○		区育成協、各小・中学校、各コミ協、民間業者ほか	
	17	あきは未来フォーラム	子どもたちの健全育成と人権を大切にすることを醸成し、住みよい地域の創造を図る。	1	総合	1	午後	480	250	250			○		○		区育成協、人権擁護委員会、保護司会、民生・児童委員連絡協議会、各中学校	
	18	子ども創造塾	集団活動や体験教室により子ども達が自ら考え創造する力を育む。	9	少年	15	午前・午後	-	496	496	3月	1	午前・午後	○	○	○		各小・中学校、薬科大、地元ボランティアなど
	19	あきは自然観察会(夏休み編)	昆虫や植物などの観察から、自然への関心を深める機会とする。	1	少年	1	午前	20	21	20								
	20	学習室開放事業	公民館研修室を学習室として、小学生、中学生、高校生、大学生に開放する。	1	少年	32	午前・午後	-	127	127								夏季32日
5. 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業	21	あきは自然観察会	地域の資源である苔について学習し、社会活動参加の機会とする。	1	総合	2	午前	20	11	20							企画委員2人	
	22	大人のための アクティブ・シニア講座	人との関わりをねらいとし、自分の体を知り、健康の再認識をはかり、これからの生きがいを見つける。	1	成人	5	午前	20	26	115							企画委員3人	
6. 現代的課題を探り、問題解決を支援する事業	23	Akiha de 夜会	秋葉区に居住、又は勤務する若者の交流の場を設け、仲間づくりを図る機会とし、今後の独自の活動につなげる。	1	成人	4	夜間	15	18	27						○	活動協力員1人	
	24	中学生の人権教室	発達障がい者の現状と課題について、当事者による講演会を開催し、市民への啓発を行う。(地域人権啓発活動活性化事業)	1	総合	1	午前	-	322	322			○					

令和元年度事業中間報告(令和2年1月末現在)

資料1-1

新津地区公民館		Noの網掛けは終了した事業です。																
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	実施済み分(4月~1月)					今後実施予定(2月~3月)			連携				特記事項
						回数	時間帯	定員	参加者数	延参加者数	実施予定月	回数	時間帯	学校	地域教育コーディネーター	コミ協等	活動協力員(人)	
7.その他	25	「はじめての万葉集」入門編	今年度元号が改められ話題となった万葉集の魅力に触れ古典に親しむきっかけとする。それにより生活に潤いを持たせ、住民の教養の向上、情操の純化を図る。	1	総合	1	午後	30	26	26								
	26	秋葉区芸能祭	様々な芸能部門の成果発表の機会にするとともに、参加者と観覧者の交流を図る。(舞踊、民謡、古典芸能、和楽器、地方付踊、ダンス)	1	総合	1	午前・午後	-	515	515				○				一中吹奏楽部、金津中文化部
	27	秋葉区成人式	新成人の門出を祝う。	1	成人	1	午後	-	418	418				○				地域教育推進課、区地域総務課、新津第一中
	28	秋葉区文芸区民大会	区民の文芸創作活動の発表の場を提供する。(文芸講演会、川柳、俳句、短歌の発表会の実施)	1	総合	4	午前・午後	-	120	120					○			新津文芸協会
	29	第13回秋葉区美術展覧会	区民の創作活動の発表の場を提供する。	1	総合	9	午前・午後	-	2,228	2,228					○			運営委員会(秋葉区美術協会)
	30	あきは日本語教室連携事業 (ボランティア養成・発表・地域交流・異文化理解)	公民館団体との共催により日本語指導ボランティアの養成や国際理解講座を行う。また、教室参加者と地域の国際交流を図る。	1	総合	1	午後	-	29	29					○			あきは日本語教室
	31	秋葉区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る。	1	総合			-			2・3月	2	午前・午後					大会実行委員会
合計				42		141			15,424	15,758		9		11	5	14	3	

令和元年度事業実施状況（中間報告1月末現在）

資料1-2

重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	実施済み分(4月～1月)					今後実施予定(2月～3月)			連 携				備 考	
						回数	時間帯	定員	参加者数(人)	延参加者数(人)	実施予定月	回数	時間帯	学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)		
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	にいがたポケ1スリッパ卓球大会	スリッパ卓球による新潟県大会(競技7種目)	1	総合						3月	1	午前・午後			○	1	スポーツ振興会・スリッパ卓球クラブ・小須戸コミ協・山の手コミ協	
	2	男の料理教室	食育・料理の基本を学び仲間づくりにつなげる。	1	成人	2	午前・午後	12	11	21									
	3	はじめての押し花教室	押し花を通じた仲間づくり	1	成人	2	午前	20	8	16									
	4	語り継ぐ小須戸の文化	地域の魅力を再発見する	1	成人	5	午前	30	28	128									
	5	門松作り	祖父母と孫で伝統行事を学び共通の体験をする	1	総合	1	午前	30	34	34								1	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	6	新津南高校学校開放講座	土曜日開催、新津南高校で教諭による教養講座と実技指導	1	成人	5	午前	20	12	38				○				新津南高校	
	7	花いっぱい運動	花の植栽作業による学校・地域団体の連携強化	2	総合	2	午前	—	111	156				○	○	○		小須戸小学校・矢代田小学校・矢代田保育園・山の手コミ協	
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	8	家庭教育講演会	園児の保護者を対象にした家庭教育向上を図ることを目的とした子どもの姿勢矯正と即効ストレッチ教室	1	成人	1	午前	12	58	58				○				小須戸幼稚園	
	9	おはよう朝ごはん料理講習会	子どもたちの基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域住民が連携して実施する	4	総合	5	午前・午後	—	52	191	2月	1	午前・午後	○	○	○		小須戸小学校・矢代田小学校・小須戸コミ協・小須戸中学校	
	10	おいしい楽しい小須戸お花塾	花と緑の小須戸地域。花の歴史や花の文化について学ぶ、小学生と親の花育・食育	1	総合	3	午前・午後	36	31	75									
4. 青少年の生きる力を育む事業	11	やってみよう科学実験	科学実験を通じて子どもたちが自ら考え創造する力を育む	2	少年	2	午前	30	33	52					○	○	3	新潟薬科大学	
	12	夏に負けない スポーツ体験	夏休み期間中、学童のひまわり児童を対象に、狭い館から出て体を動かすスポーツ体験を実施する	2	少年	2	午前	—	40	76							1	小須戸ひまわりクラブ・矢代田ひまわりクラブ	
	13	ディキャンプ(中止)	長期の休みを利用した子どもの体験学習	1	少年	1	午前・午後	20						○	○			小須戸小学校・矢代田小学校 猛暑により中止 申込者数20人	
	14	もちつき&ニュースポーツ体験	子どもたちが様々な体験を通じて、創造力や自立心、他人との信頼関係を築くための協調性を養う	1	総合	1	午前・午後	30	42	42					○	○	3	山の手コミ協	
	15	夏休み勉強部屋オアシス	小中高校生を対象とした夏休み期間中の勉強部屋	1	少年	33	午前・午後	—	18	265								1	小須戸まちづくりセンター職員
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	16	高齢者健康塾	高齢者が元気で社会と関わりをもつように促すとともに、生きがいを育てるようにする	1	高齢者	1	午後	45	44	44	3月	1	午後			○		山の手地区老人クラブ 秋葉区健康福祉課	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	17	ブチ書道教室	社会生活において筆を使う場面は少なくない。ビジネスマナーの一環として書道を学ぶ	1	成人	2	夜間	18	15	27									
	18	素敵な年の重ねかた	これからもずっと輝いているための身体、心、生活の整え方を学ぶ	1	成人	3	夜間	40	17	42									
	19	かんたん健康フィットネス	ゆるやかな運動による健康増進と仲間作り	1	成人	4	夜間	30	29	102									
7. その他	20	体験！ニュースポーツ入門	三世代で様々なスポーツに挑戦	1	総合	2	夜間	—	27	47	2月	2	夜間					1	スポーツ振興会・スリッパ卓球クラブ
	21	小須戸地区市民展	地域住民による作品展示	1	総合	2	午前・午後・夜間	—	382	625						○	7	小須戸文化協会・小須戸まちづくりセンター	
	22	小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表会	1	総合	1	午前・午後	—	277	277						○		小須戸文化協会・小須戸まちづくりセンター	
	23	小須戸地区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る。	1	総合	1	午前・午後	—	26	26									小須戸囲碁将棋愛好会
	24	こすど地区公民館報の発行	公民館や地域の明るい話題や情報を紹介	1	総合	10	午前	—	5	50		2	午前						公民館編集委員
合 計				30	—	91	—		1,300	2,392	—	7	—	5	5	8	18		

※ NOの欄は終了した事業です。

令和 2年度事業計画(案)

資料2-1

新津地区公民館		Noの網掛けは新規事業です												
基本施策	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	連携				特記事項	
									学校	地域教育 コーディネーター	コミ協等	活動 協力員(人)		
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	コミ協出前講座	コミュニティセンターを会場に各種事業を行い、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	午後	2月			○		秋葉区内コミ協	
	2	コミュニティ防災学習会	地域や学校と連携した防災講座を開設し、地域防災意識の高揚と人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	午後	6月	○	○	○		阿賀小、阿賀浦コミ協	
	3	あきは未来塾	地域コミュニティ協議会等と連携し地域の人材育成や、地域資源の有効活用を考えたコミュニティビジネスに発展させて、地域の活性化を進める。	1	総合	4	午前・午後	4～12月			○		秋葉区内コミ協、地域総務課、産業振興課	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	4	地域交流事業	地域交流事業を各種地域団体との協働により実施することで、地域のつながりを促進し人材の育成につなげる。	3	総合	3	午前・午後	随時	○	○	○		区内各小・中学校	
	5	GIP集会	中学校「いじめ防止問題」集会に地域住民も参加してもらい、地域をあげて課題解決を図るとともに、世代間交流による地域の活性化を推進する。	1	総合	1	午後	12月	○	○	○		五中 校区コミュニティ協議会	
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	6	乳児家庭教育学級「ゆりかご学級」	家庭教育の重要性を学ぶ。保護者と地域が共に子育てをする大切さを知る。(仲間づくりの機会)	1	成人	5	午前	5, 6月						
	7	幼児期家庭教育学級「ほかほか学級」	子どもの心身の発達、自我の芽生えを理解し、子育ての不安や悩みを話し合う。(仲間づくりの機会)	1	成人	5	午前	7・8月						
	8	児童期家庭教育学級	子どもの心と体の発達を理解し、同世代の子どもを持つ親同士の交流を図る。(仲間づくりの機会)	1	成人	3	午前	10, 11月				○		
	9	子育てサロン「ポッポー！」	親子のつながれる居場所づくり、情報交換	1	総合	22	午前	通年				○	サポート(運営委員・活協員・読み聞かせ)	
	10	家庭教育講演会	秋葉区幼稚園PTA連合会との共催による講演会	1	総合	1	午前	11月						秋葉区幼稚園PTA連合会
	11	選べる子育て応援講座「エール」	乳児期・幼児期・児童期の各家庭教育学級の総括として、子育てをしている保護者を対象に、様々な角度から子育ての提案をする。	1	成人	3	午前	2, 3月				○		
4. 青少年の生き抜く力を育む事業	12	秋葉区一斉クリーン作戦	地域・家族の協働による美化活動を行い、併せて青少年の健全育成を図る。	1	総合	1	午前	4月	○		○		区育成協、小中学校、コミ協、民間業者	
	13	あきは未来フォーラム	子どもたちの健全育成と人権を大切にすることを醸成し、住みよい地域の創造を図る。	1	総合	1	午後	11月	○		○		区育成協、人権擁護委員協議会、保護司会、小中学校	
	14	区づくり事業「チャレンジ あきは体験隊」	「みりょくノート コミ・ぶら散歩」を活用したまち歩き体験などにより、ふるさと「あきは」への愛着と誇りを醸成する機会とする。	1	少年	1	午前・午後	8月			○	○	区内コミュニティ協議会、新潟薬科大学	
	15	区づくり事業「あきはっ子里山体験隊」	昆虫や植物などの観察から、自然への関心を深める機会とする。	1	少年	3	午前	7・8月				○	○	企画委員
	16	こども創造塾	集団活動や体験教室により子ども達が自ら考え創造する力を育む。	8	少年	15	午前・午後	随時	○	○	○			各小・中学校、薬科大、地元ボランティアなど
	17	学習室開放事業	公民館研修室を学習室として、小学生、中学生、高校生、大学生に開放する。	1	少年	72	午前・午後	夏・冬・春休期						夏32+冬20+春20
5. 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業	18	あきは自然観察会	地域の資源である苔について学習し、社会活動参加の機会とする。	1	総合	3	午前	10月				○	企画委員	
	19	アクティブシニア講座	人との関わりをねらいとし、自分の体を知り、健康の再認識をはかり、これからの生きがいを見つける。	1	成人	5	午前	6, 7月						企画委員
6. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を支援する事業	20	Akiha de 夜会	秋葉区に居住、勤務する若者の交流の場を設け、仲間づくりや自らの健康や将来設計を考える機会を提供し、今後の独自の活動につなげる。	1	成人	4	夜間	2, 3月				○	企画委員	

令和 2年度事業計画(案)

資料2-1

新津地区公民館		Noの網掛けは新規事業です												
基本施策	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	連携				特記事項	
									学校	地域教育 コーディネーター	コミ協等	活動 協力員(人)		
7.その他	20	秋葉区の学び	秋葉区の「宝」を様々な視点から学ぶことで、地域の良さを知り愛着を感じられる機会を提供する。	1	総合	3	午前	6月				○	路地連にいつ	
	21	おとな目線で学ぶ市内施設・名所めぐり	なかなか入れない市内の民間施設や地域の公共施設などを巡って、いろいろな施設の特徴を知る機会とする。	1	総合	3	午前・午後	11・12月				○		
	22	「はじめての万葉集」を学ぶ入門編	話題となっている万葉集の魅力に触れ古典に親しみきっかけとし、生活に潤いを持たせ今日の生活の向上、情操の純化を図る。	1	総合	3	午後	8月				○		
	23	秋葉区芸能祭	様々な芸能部門の成果発表の機会にするとともに、参加者と観覧者の交流を図る。(舞踊、民謡、古典芸能、和楽器、地方付踊、ダンス)	1	総合	1	午前・午後	6月						運営委員会
	24	秋葉区文芸区民大会	区民の文芸創作活動の発表の場を提供する。 (文芸講演会、川柳、俳句、短歌の発表会の実施)	1	総合	3	午前・午後	10、11月						新津文芸協会
	25	秋葉区成人式	新成人の門出を祝う。	1	成人	1	午後	5月	○					地域教育推進課、区地域総務課、新津第一中
	26	第14回秋葉区美術展覧会	区民の創作活動の発表の場所を提供する。	1	総合	9	午前・午後	9月						運営委員会
	27	あきは日本語教室連携事業 (ボランティア養成・発表・地域交流・異文化理解)	公民館団体との共催により日本語指導ボランティアの養成や国際理解講座を行う。また、教室参加者と地域の国際交流を図る。	1	総合	1	午後	随時						あきは日本語教室
	28	秋葉区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る。	1	総合	2	午前・午後	2・3月						大会実行委員会
合計				38		180			9	5	11	12		

令和2年度 事業計画

資料2-2

小須戸地区公民館		※ NOの網掛けは新規事業です。									連 携				特記事項
重点化	№	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員			
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	にいがたボケ1スリッパ卓球大会	スリッパ卓球による新潟市内唯一の大会(競技7種目)	1	総合	1	午前・午後	3月			○	○	スポーツ振興会・スリッパ卓球クラブ小須戸コミ協・山の手コミ協等		
	2	初心者のための庭木剪定講習会	庭木剪定を学び、各家庭をきれいにすることで、輝くような街並みをつくる。	1	成人	2	午前	5～6月					小須戸造園協会		
	3	門松づくり	地域住民の指導による門松づくりを通して、子どもたちに新たな学びの機会としての社会活動を促す。	1	総合	1	午前	12月				○			
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	4	新津南高校学校開放講座	土曜日開催、新津南高校で教諭による教養講座と実技指導	1	成人	5	午前	9～11月	○			○	新津南高校		
	5	花いっぱい運動	花の植栽作業による学校・地域団体の連携強化	2	総合	2	午前	5～11月			○		小須戸コミ協・山の手コミ協、小須戸小・矢代田保・矢代田小		
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	6	家庭教育講演会	園児の保護者を対象にした家庭教育向上の講演会及び子育て情報交換	1	成人	1	午前	12月	○				小須戸幼稚園		
	7	おいしい楽しい小須戸お花塾	「花と緑のまち小須戸」ならではののお花を使った「花育」と、おやつ作りを通じた「食育」を小学生と親または祖父母で学ぶ	1	総合	3	午前	4～6月					新潟県花と緑のアドバイザー		
4. 青少年の生きる力を育む事業	8	やってみよう科学実験	科学実験を通じて子どもたちが自ら考え創造する力を育む	2	少年	2	午前	8月		○		○	新潟薬科大学		
	9	夏に負けない スポーツ体験	夏休み期間中、学童のひまわり児童を対象に、狭い館から出て体を動かすスポーツ体験を実施する	2	少年	2	午前	8月				○	小須戸ひまわりクラブ・矢代田ひまわりクラブ		
	10	こども考古学体験教室	長期の休みを利用した子どもの体験学習	1	少年	1	午前	8月		○		○			
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	11	高齢者健康塾	高齢者が元気で社会と関わりをもつように促すとともに、生きがいを持てるようにする	1	高齢者	2	午前	1～3月			○		秋葉区健康福祉課、老人クラブ		
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	12	ブチ書道教室	社会生活において筆を使う場面は少ない。ビジネスマナーの一環として書道を学ぶ	1	成人	2	夜間	11月							
	13	ペットと防災	防災の話や動物の応急手当の方法、避難の疑似体験を通じて、避難所でのペットとの生活がどのようなものかを学ぶ	1	成人	1	午後	6月					新潟市動物愛護推進員		
	14	健康教室	区役所健康福祉課保健師と連携した健康教室	1	成人	2	夜間	5～6月					秋葉区健康福祉課		
7. その他	15	体験！ニュースポーツ入門	三世代で様々なスポーツに挑戦	1	総合	4	夜間	1～2月				○	スポーツ振興会・スリッパ卓球クラブ		
	16	小須戸地区市民展	地域住民による作品展示	1	総合	2	午前・午後	11月	○		○	○	小須戸文化協会、小須戸まちづくりセンター、幼・保育園		
	17	小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表会	1	総合	1	午前・午後	11月	○		○	○	小須戸文化協会、小須戸まちづくりセンター、保育園		
	18	小須戸地区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る	1	総合	1	午前・午後	11月					小須戸囲碁将棋愛好会		
	19	こすど地区公民館報の発行	公民館や地域の明るい話題や情報を紹介	1	総合	12	午前	通年					公民館報編集委員		
合 計				22		47			4	2	5	9			

令和元年度 地域コミュニティ活動活性化支援事業 実施報告

「柳都の館（やかた）うらおもて！」
～おとな目線でまなぶ市内施設めぐり～

博物館や図書館、水族館では来館者のための展示のほか、所蔵物・専門知識について学術的な調査、研究を行っており、所蔵物の管理・保全には専門的スキルを持った職員が担っています。今回の「施設めぐり」は、各館専門職の方より館内を案内していただきながら、研究内容や苦労話、裏事情等を教えてもらい、受講者の“知的好奇心”や興味・関心及教養の深化を図ることを目的として開催しました。

- 日 時：第1回 令和元年11月27日（水）「新潟市歴史博物館 みなとぴあ」
第2回 令和元年12月 4日（水）「新潟市水族館 マリンピア日本海」
第3回 令和元年12月11日（水）「新潟市立中央図書館 ほんぽーと」
※第1回・3回 午前9時30分～11時30分
第2回 午前9時30分～14時30分
- 講 師：第1回 みなとぴあ学芸員 藍野 かおり さん
第2回 マリンピア日本海学芸員 大和 淳 さん
第3回 ほんぽーと司書 大西 航太郎 さん

参加人数：12人

内 容：市内の施設を回り、それぞれの専門知識を持つ職員の方から当事者目線で、普段聞くことのできない話や裏話をしていただく。（品物や生き物の「入手、管理」に関する内容や苦労する事や工夫）
また、普段見ることのできない施設の裏側を案内していただいたり、専門知識の方だから話せる裏事情をお話ししてもらう。

第1回 藍野さんから「みなとぴあ」を案内してもらう



*白山神社に奉納してある「大船絵馬」
新潟の米を江戸や大阪に運んでいた様子が描かれている



*本物の稲わらを防腐処理して展示に使用

第2回 大和さんから「マリンピア日本海」を案内してもらおう

☆午前中、講義で午後は自由見学としました☆



*大水槽の海水はすべて目の前の海の
沖合400メートルから採っている



*水族館の機能についてお話
いただきました

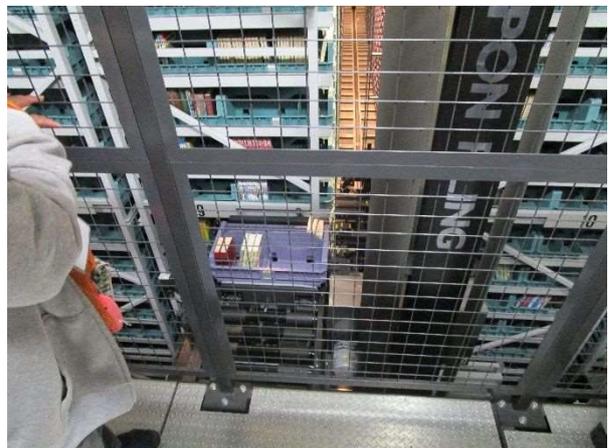
第3回 大西さんから「ほんぽーと」を案内してもらおう



*自動出納書庫（図書を入れたコンテナを
コンピュータで制御し、効率よく出し入れ
します。約45万冊収容）

*実際に自動出納書庫
の動きを見ることが
できました♪

*本その他、CD・DVD(14,000点)
がオンラインで繋がっています



令和元年度 青少年の生きる力を育む事業 実施報告

「あきは子ども自然観察会」～見て聴いて触れて楽しむ夏休み～

現代の子どもたちの多くは、昔と比べると自然との触れ合いや自然環境の中で、遊ぶ経験が激減しており、自然から学ぶ機会に恵まれているとは言い難い。そのような現代日本の子どもたちの状況を踏まえ、自然という非日常の中で遊び、楽しみ、何かを発見するという体験の場を提供し、子どもたちの健康な成長に資することを目的とする。

日 時：平成31年7月29日（月） 9：00～15：00

会 場：新潟県立烏屋野潟公園 新津地区公民館

講 師：新潟県立烏屋野潟公園 統括所長 浅野涼太

参加人数：区内の小学生 1～3年生 21人

新津地区公民館 4名（講師除く）

内 容：自然観察と絵日記制作

挨拶、講師紹介、
今日の流れの説明



現地で学習開始





各自、昆虫などを採集



公民館に戻って昼食



スライドで写真を見ながら絵日記作成



雨が降ったりやんだりした1日でしたが、思いのほか昆虫がたくさんいて、捕まえることができました。
子どもたちは、バッタなどを夢中になって追いかけていました。

令和元年度 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業 実施報告

「あきは自然観察会」苔のちから

急速な高齢化とともに、急激に変動する現代社会において、高齢者の生きがいの増進並びに、教養の向上を通じて、改めて自分たちの暮らす、地域の自然環境に関心を持ち、地域資源を見直すとともに、主体的な活動から、学習成果をもとに積極的な社会参加をめざす。

日 時：令和元年10月2日（水）・9日（水） 午前10：00～正午
会 場：新津地区公民館 305研修室
講 師：(株)グリーンズ グリーン 代表取締役社長 医学博士 佐藤 征也
参加人数：11名（1回目は職場体験の中学生が2名参加）
内 容：苔の効能効果についての学習と苔の作品の制作



「苔は人類を救う」と題し、講義



材料の苔は金津の山から調達



苔玉を制作中



職場体験の中学生も参加
苔玉を作りました。



完成

2回目の様子



講義後、先生の制作指導

2回目は
苔アートを
制作



最後に記念撮影
終始和やかな雰囲気
でした!(^)!



令和元年度 新元号についての教養講演会 実施報告

「はじめての万葉集」入門編

今年度元号が改められ話題となった万葉集の魅力にふれ古典を楽しむきっかけとする。それにより生活に潤いをもたせ、住民の教養の向上、情操の純化を図る。

日 時：令和元年7月27日（土） 午後2時～4時
会 場：新津地域交流センター 201・202研修室
講 師：元万葉集研究会 専任講師 藤田 秀雄
参加人数：26名
内 容：新元号と万葉集の背景



講師資料抜粋



「新元号と万葉集の背景」と題し、講演

アンケート抜粋

- 万葉集を続けてはどうでしょうか
- 聞けば聞くほど、興味が大きくなりずっとお話を聞いていたと思いました。
- 古典というと敷居が高かったですが、文法からではないとお聞きしてもっと触れてみたいと思いました。
- これからも古典の教養講座を続けて欲しいです。
- 藤田先生の講義をまた交流センターで第2回、3回と実現していただきたいと思いました。



男の料理教室



今年のアジを使った料理に挑戦！

- ◆講師：新潟調理師専門学校 吉田 奈美副校長
- ◆参加者：延べ21名
- ◆会場：小須戸まちづくりセンター調理室

7月19日(金)



- ・アジの蒲焼き
- ・きゅうりとみょうがの和え物
- ・アジのすりながし汁

7月26日(金)



- ・アジのなめろう
- ・冷しゃぶの梅ドレ和え
- ・夏野菜の具沢山汁

事業報告（地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業）



講座を企画して5年目となる今年は「アジ」を使った魚料理に挑戦しました。

1回目には夏らしい「アジの蒲焼き・きゅうりとみょうがの和え物アジのすり流し汁」を作りました。「大名おろし」という魚のおろし方を習い、下処理の方法も教わりました。骨についた身も無駄にせず美味しく調理する方法を教わりました。

2回目はアジの皮を剥いて「なめろう・冷しゃぶの梅ドレ和え・夏野菜の具沢山汁」を作りました。

たくさん手間をかけた分、味は格別で、どの班からも「おいしい」という声が上がっていました。「講座で習ったことを活かしてお子さんの魚嫌いを克服させたい。」などの感想がありました。

はじめての



押し花 教室 (全2回実施)

身近な草や花は角度を変えて見つめると、とても表情豊かな事に驚かされます。

押し花の世界を通して、身近な草や花での創作を行いました。

講師：阿部静枝さん・石黒雪子さん（押し花インストラクター）

実施日：7月2日（火） 参加者8人

7月9日（火） 参加者8人



事業報告（地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業）

「花と緑の小須戸」ならではの、花や葉を使った「押し花」の制作を通して仲間づくりの機会となるよう企画しました。

参加者は、押し花のレイアウトや配色などを考えながら、ポストカードやミニフレームづくりを楽しんでいました。

講座は2回だけでしたが、終了後のアンケート結果では満足度が100%となり、押し花の魅力が十分伝わった講座となりました。



当日の講座の様子





「新瀬湊之真景」
(新潟市歴史博物館 提供)



お出掛け編は良い天気にも恵まれました。皆さん、熱心に見て聞いて新たな発見がありました。



講師は木村宗文さんと青木達男さんです。



語り継ぐ
小須戸の文化
「地域の歴史と信仰編」

開催日・参加者数

9月20日(金)	24人
9月27日(金)	28人
10月 4日(金)	28人
10月11日(金)	26人
10月18日(金)	22人

事業報告（地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業）

●今年のテーマは「地域の歴史と信仰」

地域学講座も5年目となりました。

小須戸には江戸末期から明治の激動期を生きた人々の様子を知る事の出来る貴重な資料が残っています。矢代田本多家の「白檣園雑記」、「私用日記」や「小須戸町史」、柏大治さんの「明治から百年の歩み」「小須戸風土記」等です。

「信仰編」では、これらの資料を用いて明治～大正～昭和～平成の神社の変遷を通して、小須戸の人々の営みを探りました。

膨大な資料と格闘し、惜しみない協力をして下さった講師の木村宗文さんと青木達男さんに感謝一杯です。



門松づくり



事業報告（地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業）

令和元年12月14日（日）小須戸まちづくりセンターにて「ミニ門松づくり」が行われ、小学生とその保護者を対象に17組34名が参加しました。

縄の結び方の「男結び」を習得するのに時間がかかりましたが、時間内に無事終了することができました。

出来上がったミニ門松は、それぞれ参加者が家に持ち帰りました。



講師から縄の結び方「男結び」について指導を受けます。



竹の切り方を教わり、保護者と一緒に竹を切ります。



松、梅、樨、豆木、を竹に挿さします。

ミニ門松の完成です。



おいしい 楽しい♪
小須戸お花塾

講師：(公財)新潟県都市緑花センター
花と緑のアドバイザー 中野節子 さん



4/27 (土) 参加者31人



5/25 (土) 参加者21人



6/22 (土) 参加者23人



事業報告 (家庭の教育力の向上を支援する事業)

家庭教育力の向上を目的に「花と緑のまち小須戸」ならではのお花を使った「花育」と、おやつ作り体験を通じた「食育」の講座を行いました。

(公財)新潟県都市緑花センターの「花と緑のアドバイザー」の中野節子さんより切り花(フラワーアレンジメント)や造花(お花のフォトフレーム作り)、育てる花(夏の花の寄せ植え)と違った材料を用い、お花について楽しく学びました。

おやつ作りでは、さくら餅などを作りました。缶切りや包丁使いなど初めての体験もありましたが、どれもおいしく出来上がり、講座の題名どおり「おいしい楽しい小須戸お花塾」となりました。



やってみよう 科学実験

事業報告（青少年の生きる力を育む事業）

8月21日（水）小須戸地区ふれあい会館

8月23日（金）小須戸まちづくりセンターにおいて

『やってみよう科学実験』教室を開催しました。毎年人気のスライム作りのほか、今年は「炭で電池をつくってみよう」「ペンの色、本当はいくつ？」も行いました。実験を教えてくれたのは、新潟薬科大学学生ボランティアのお兄さん・お姉さんです。優しく、とっても丁寧に教えてくれました。



実験の様子

8/21 小須戸地区ふれあい会館 参加者数：19人

8/23 小須戸まちづくりセンター参加者数：33人

新潟薬科大ボランティア人数：20人

① 炭で電池をつくってみよう



炭とアルミホイルを使って、電池が出来るか電子オルゴールを使って確かめていました。

② ペンの色、本当はいくつ？



水性ペンが何色で出来ているか、水と紙を使って確かめました。

③ スライムを作ってみよう



色とりどりのスライムが完成しました。子どもたちは大喜びしていました。



素敵な 年の重ねかた

開催日・参加者数

9月6日(金) 17人

9月13日(金) 14人

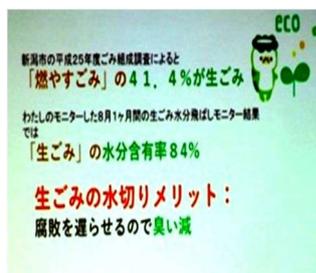
9月20日(金) 11人

Health Wellness



今年のテーマは「無形資産」といった

目には見えない資産について考える！ です。



事業報告（現代的課題を探り、解決を支援する事業）

今年度のテーマは「無形資産について考える」とし、「繋がり・健康・知識」といったお金には換算できない「資産」、「幸せ」について考える講座としました。

1回目「**繋がり**」では、『隣近所・地域コミュニティと繋がりが多い人は認知症になりにくいと言われています。「タコ」のように海底に籠るのではなく「イカ」のようにコミュニティを築き、アクティブに動きましょ！』と話がありました。（新潟経営大学中島先生）

2回目「**健康**」では、認知症や寝たきりを防ぐ健康寿命の延ばし方について学びました。不良動作・不良姿勢を続けると腰痛・頭痛といった不調の原因になることから、筋肉を正しく機能的に動かす運動を教わりました。（新潟経営大学安田先生）

3回目「**知識**」では、より環境のために一人一人ができることについて、生ごみの減量化・再資源化などを学びました。（県地球温暖化防止推進員白井先生）

令和2年度 新潟市公民館事業の基本方針（案）

1 はじめに

新潟市教育委員会は令和2年3月、新潟市教育ビジョン第4期実施計画を策定しました。

この計画では、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりを通して「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成することが、中心的な考え方として掲げられています。また「学校教育」、「生涯学習」、「教育行政」の各分野の施策が示され、「生涯学習」においては、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」、「多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」の3つに取り組むことがうたわれています。

今日の少子・超高齢化による人口構成の変化や人口減少、ICTの発展による高度情報社会の到来、自然災害の多発、さらには地域コミュニティや人間関係の変容に伴い、これからの社会では、地域課題の解決や地域活性化を推し進める人材の育成が重要になってきました。

このような中で、公民館は、地域課題や社会の課題に向き合い、子どもから高齢者まで世代に応じた学びの場を充実させ、その成果を地域で活かすとともに新たなつながりを広げることによって、安心して暮らせる地域づくりを進めていくことが今まで以上に求められています。

2 基本方針

(1) 社会の変化や市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実

社会状況の激しい変化に対応できるように、子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

(2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3) 自信をもって自己実現していける市民の育成

人とのかかわりの中で互いに考えを伝え合い合意形成を図るなど学習者の自己肯定感を高めるような学習機会の提供を通して、変化の激しいこれからの社会で自己実現していくことができる力を高めます。

(4) 学びの循環を活かした地域コミュニティの形成・活性化への支援

学びを通して、地域の課題・生活上の課題を把握し、解決に向けて取り組むことで、地域での絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

3 基本施策

- (1) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援
- (2) 家庭における教育力向上の支援
- (3) 青少年の生き抜く力を育む機会の充実
- (4) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
- (5) 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。

公民館講座紹介



小須戸地区公民館

秋葉区健康福祉課 共催事業

令和元年度 第2回

高齢者健康塾



～フレイル予防講演会～

加齢による体の衰えの予防方法を学びましょう!

「フレイル」とは・・・加齢により筋力や心身の活力が低下した状態で健康と要介護状態の中間のことです

3/19(木) 笑う門には健康来る! 笑いヨガ体験

講師: 熊倉玲子さん・大熊絹枝さん
(笑いヨガリーダー)



昨年度に開催した「笑いヨガ体験」の様子

- ◆時間: 午後1時30分～3時
- ◆会場: 小須戸地区ふれあい会館 研修室
- ◆対象: どなたでも
- ◆参加費: 無料
- ◆持ち物: 内履き・飲み物・バスタオル・タオル
- ◆服装: 動きやすい服装でスカート不可
- ◆定員: 45名
- ◆申込期間: 2月17日(月)～3月6日(金)

お申し込み先: 小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715



2回目は「版画入門」で木版を使用するのではなく、スチレンボードを彫って作品制作を行いました。



1回目は「オリジナルのイラストのみを汁を調くろ」ということで、調理室にて好みの具材を入れた「みそ玉」づくりを行い、試飲をしました。



最終回5回目は「詩絵体験」で思い思いの文字や図案を小皿に描き制作しました。



4回目は「もしもの時に備えた家庭における救急対応をテーマとし、血圧や脈の測り方などの健康維持の基礎知識を習得することも、止血と気道異物の対処法やAEDの使用法などを学びました。



3回目は「少林寺拳法健康プログラム」として、少林寺拳法部の演武を見たあとに、実際に相手の攻撃をかかわず動きを体験し、体幹を鍛えました。



第43回「日本ボケ展」開催のお知らせ

日本一の規模を誇る第43回「日本ボケ展」が開催されます。

期間中、約1万鉢ものボケの花が展示即売(価格は1鉢600円ほどから数万円まで)され、日本ボケ協会と県内外のアマチュア愛好家との合同作品展も同時開催されます。ぜひ一度ご覧になってみてください。

期日 令和2年2月28日(金)～3月8日(日) 9:00～17:00
※ただし最終日3月8日(日)は9:00～16:00まで

会場 うららこすど(新潟市秋葉区小須戸)
☎250-38-5430

なお、農産物直売所の「うららこすど」は、17:30まで営業中



12月21日(土)、小須戸まちづくりセンターにおいて読み聞かせボランティア「おはなしほけっと」の皆さんによる恒例の「クリスマス会」が行われました。

当日は◆「ラクダとネズミの争い」の語りと◆「せんべ せんべ やけた」◆「ぐりとぐらの1ねんかん」の絵本の読み聞かせのほか、最後に手づくりの「クリスマスプレゼント」をもらえるサプライズがあり、子どもたちは大いに喜んでいました。

絵本の読み聞かせとお話の語り「おはなしのせがいは」
「クリスマス会」が開催されました



シユと少年の死を迎える下りに達した時、あまりの悲しさに皆に気付かれぬ様に鳴咽を堪え、ポタポタ落とした涙が眞を濡らした。

あれから半世紀をも遙かに越え、紆余曲折を経て晩年を迎えた今、もう一度読んで見たい。



久保 ミネ子さん (小須戸)

「忘れられぬ一冊」

気の遠くなる様な遠い話である。小学五・六年生の頃一冊の本に出合った。名作「ランタナスの犬」である。

その頃は一つ屋根の下に大家族が住み、自分の部屋などはない。苦もななく、夕食後家族が集まって居る茶の間の片すみの

壁に寄りかかり友達から借りた本を開いた。バトラッシュという犬と少年が信頼と固い絆で結ばれた物語である。

読まれた方も沢山居られたと思うが画家を夢見ているネロ少年が貧しき中、艱難辛苦の努力も及ばず夢は叶わずバトラッ

第13回「秋葉区美術展」入賞作品介绍

今回で13回目となる「秋葉区美術展(区展)」が昨年の11月23日から12月1日まで新潟市新津美術館で開催されました。小須戸地区からは5名6作品の入賞がありました。受賞者は12月1日の表彰式で賞状と記念品が贈られました。

優秀賞

彫刻部門「思い出BOX」

高野 淳さん(矢代田)

淳の大好きな作品は、思い出の箱に入れました。



優秀賞

版画部門「ヒゲの男」

小見 久雄さん(小須戸)

昨年奨励賞をもらった写真を版画にしたものです。

彫刻刀はあまり使わず、主に小さい電動ドリルで穴を開けて作りました。



奨励賞

写真部門「雪の朝」

横山 チサ子さん(新保)

寒い朝、北方文化博物館の大広間で掃除中の方を撮らせてもらいました。

逆光で女性がとても美しく感動してシャッターを切りました。



奨励賞

写真部門「出番待ち」

風間 ヤヨエさん(新保)

今回モノクロ調に仕上げました。子ども相撲順番待ち、腰から上、元とゾウリを主に撮りました。子供達の様子を想像して見て下さい。



奨励賞

写真部門「文弥人形」

本間 栄子さん(小須戸)

文弥人形が好きで、佐渡にいくたびに会いに行きます。

またいけたらいいなあと思います。



奨励賞

写真部門「高所作業」

小見 久雄さん(小須戸)

白根の亀田製菓前にある高圧線の補修作業をやっているところを撮りました。くもり空だったので背景が残念でした。



文芸欄

良寛の国上伊夜日子初明りあづき粥食べて賑やか初句会「福神の子」が舞ひ込みし年始め兄いもと集ふて笑顔夢はじめ初夢や足早き亡夫追ひつけず今年こそ願望成就老い無し

雪折れの不動明玉寒の雨菩提寺の枝活ける備前焼花八手ばっさり切られなほ白し

着飾って包丁休む三が日若水に包丁を研ぎ繁盛記達人の包丁捌き無駄がない漬物に包丁見事数珠つなぎかまぼこの包丁の跡味深く包丁のリズムで分かる家族愛迎春や家族みんながしあわせに

目止る色鮮やかな色彩にキラキラ羽越に乗って見たいな佐渡ヶ島手届きそうに浮かんでる年の始めの静かな海にあらたまの年を迎えて孫子等と祝ふ御神酒の身にしみとおる

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、2月20日(木)までに小須戸地区公民館へ。(縮切厳守)

「4月号より文芸欄が変わります」

こすど地区公民館報4月号(4月15日発行)より、区健康福祉課提供「健康ひとロメモ」の連載を開始します。そのため、誌面スペースの関係上、文芸欄の枠サイズが変更となります。ついては掲載ルールも変更となります。詳細は1月15日発行の公民館報第781号をご覧ください。

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】
 - ・ほどよい 居場所 のつくりかた (菅原圭)
 - ・それ、時代ものにはNGです2 (若桜木度)
 - ・トラウマのことがわかる本 (白川美也子)
 - ・80歳現役医師が教える!つまづかないカラダの動かし方 (林泰史/監)
 - ・食卓で育む伸び力 (食育ずかん/編・著)
 - ・家づくりのつぼノート (西久保毅人)
 - ・トマト・ブック (坂田阿希子)
 - ・はじめてのほうろうバットのおやつ (若山曜子)
 - ・平場の月 (朝倉かすみ)
 - ・家康謀殺 (伊東潤)
 - ・むらさきのスカートの女 (今村夏子)
 - ・彼女たちの場合は (江國香織)
 - ・満 (大島真寿美)
 - ・うちの子が結婚しないので (垣谷美雨)
- 【児童書】
 - ・ころべばいいのに (ヨシタケシンスケ)
 - ・もつとざんねんないきもの事典 (今泉忠明)
 - ・おぼけとしょかん (斉藤洋)
 - ・おしりたんでいラッキーキャットはだれのてに! (トコロ)

「ニュースポーツ体験」参加者募集!

- ◆種目 カーリンコン
- ◆日時 令和2年3月7日(土) 14時~16時
- ◆会場 小須戸地区ふれあい会館(多目的ホール)
- ◆服装 動きやすい服装
- ◆持ち物 内履き、タオル、飲み物
- ◆問合せ 小須戸地区ふれあい会館 (電話: 0250-38-3151)

主催 小須戸地区スポーツ振興会
協力 山の手コミュニティ協議会・小須戸コミュニティ協議会

同時開催

☆1月~3月の毎週土曜日13時~17時まで、ふれあい会館多目的ホールにて無料で卓球・スリッパ卓球・バドミントンができます! 事前予約は不要、用具も貸出無料、内履きを持参して、利用者どうし譲り合ってお楽しみください。混雑時は30分をごとに交代をお願いします。※活動中の怪我については一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。



編集委員のつばやき

毎年正月にお寺へ年始参りに行くと、必ずお母様特製の「梅干」が振舞われる。参拝への感謝と、「今年もお互い元気でいようね」という何気ない心遣いを感じ嬉しく思う。今年も心躍る、心弾む、心おむ公民館報を各家庭に届けたいものだ。(M)